

おんこちしん  
**温故知新**

第5回 世界の珍コールサイン

- へえ~、と言える話題! -

JA0IAA 佐田 浩

JA では JA-JS、7K1-7N4 までのプリフィックスが割り当てられました。これに小笠原・南鳥島の JD1 が加わります。記念局には 8J・8N のプリフィックスが付与されていますが、最近ではサフィックスが 1 文字から 5 文字まで登場しバラエティに富んできました。  
DX は特別プリフィックス・珍しいサフィックスが多数あります。手持ちの QSL から珍しいコールサインを探してみました。

**JA 国内の場合**

最近では電波が出ていないため(Hi)、新しい QSL はありません。

まずは 8J90XPO、1990 年に大阪市で運用されたのですが、サフィックスのエリアに相当する箇所が年号にちなんで 90 と 2 桁です。ハムログでエリア別交信件数を検索すると、9 エリアに入るはずですが、



次は 8N2000、2000 年(ミレニアム)に運用され、JA 初の数字サフィックスです。これは当初度肝を抜かれました。総務省もここまで頭が柔らかくなったのか……と、良い意味で評価したいと思います。



その後 8J のプリフィックス + 1 文字サフィックス

が登場しました。サフィックス 1 文字の短いコールはアメリカは上級クラスで入手可能です。JA でも一部コンテスターより割り当てを望む声がありましたが、現在は記念局のみ免許されています。個人に認めると、あっという間に埋まってしまい(即日完売!?)ます Hi。

そういえば、もう一つプリフィックスがありました。1972 年に日本に返還されるまでの沖縄 KR6/KR8 です。日本人に KR8、アメリカ人に KR6 が割り当てられていましたが、JA は KR6 と QSO 出来ませんでした。



**DX の場合**

ユニークなコールが沢山あります。全世界を対象とした WPX コンテストではプリフィックスがマルチになる(例えば JA1、JA0、JR0 で 3 つ)ので、普段聞こえない珍プリフィックスの局が多数出現します。

まずは珍しいプリフィックスからです。香港(VR2)は 96・97・98 年の特別コールとして VR96・97・98 が使われました。97 年にイギリスから中国へ返還されましたが、現在も VR2 は良く聞こえています。



建国 XX 周年とか、第 XX 回大会といった数字を用いたコールもあります。韓国(HL)建国 50 周年の 1998 年に HL50 が登場しました。HL では第 17 回世界ジャンボリー記念の 6K17、第 17 回ワールドカップ記念の HL17 も運用されました。

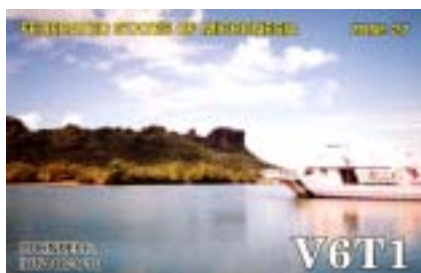
全く違うプリフィックスも多数あり、4D-4I = フィリピン(DU)、7A = インドネシア(YB)、J4 = ギリシャ(SV)、3Z = ポーランド(SP)など、慣れないと”What is your prefix?”と聞きたくなくなってしまいます。



さて次にサフィックス、最初はミレニアムに因んだ局として 9AY2K(クロアチア)を見つけました。サフィックスが Y2K = Year2000 なのです。同じクロアチアで 9A2000B なる局もありましたし、台湾(BV)では日本人の BW2000 がアクティブでした。



サフィックスが英文字+数字というコールがマイクロネシアの V6T1(日本人の運用)。1965年にDXペディションで JY74 という局が出現したそうですが、申請書の文字を読み間違えたのか JY7H の”H”が”4”になったという話を読みました。同じことだったのでしょか。



サフィックスが無いのがアラビア-アフリカ間の紅海に浮かぶ Abu-Ail の DX ペディション、J20/Z(”0”はゼロです)。1991年に消滅エンティティとなり、現在は超珍のイエメン(7O)に属します。



プリフィックスとサフィックスの区別がつかないのが、アフリカのベニン TYA11、決して”11”ではなく数字で”11”です。”Tango Yankee America Eleven”とアナウンスしていたので、びっくりしました Hi。



### コールサインは大切に

一度割り当てられたコールサインが他人に付与される「再割り当て」は 1-3, 6 エリアで実施中ですが、0 エリアではまだ遠い先の話でしょう。長く使ったコールは愛着のあるもの、免許を一度失効しても再申請で復活できるのは喜ぶべきです。

海外でも日本に次いでアマチュア局の多いアメリカでは免許のクラスによってコールサインが変わっていきます。上級クラスになれば W X、あるいは WX X (は数字)のような形式のコールサインが入手できます。QSLにはex(旧)W XXXと、以前のコールが標記してあることも多数あります。

割り当てに余裕がある(アマチュア無線人口が少ない)国ならばこれもライセンス管理の一法でしょうが、せっかくもらったコールですから大切にしたいですね。

私のコールは、最初は母音ばかりで言いにくかったのですが、相手には覚えやすいようですし、母音はSSBのパイルアップに強い!?ようで気に入っています。CWでは少し短すぎて打ちにくいでしょうか HI!